

平成 23 年度（第 36 期）事業報告

1. 平成 23 年度研究奨励金等交付金の交付（定款 第 4 条第 1 項第 1 号、第 2 号）

平成 23 年 2 月 2 日開催の理事会の決定に基づき、選考委員会の審議を経て次の通り実施し、平成 23 年 11 月 14 日開催の平成 23 年度第 2 回理事会で決定した。

① 研究奨励金

◆募集内容

- ・募集研究分野：臨床薬理研究
- ・募集期間 平成 23 年 6 月 15 日～8 月 31 日
- ・応募件数 96 件

◆選考経過

- ・第 1 回選考委員会開催（募集方法等の審議） 平成 23 年 5 月 27 日
- ・選考委員による申請書の評価 平成 23 年 9 月 8 日～10 月 5 日
- ・第 2 回選考委員会開催（交付対象者候補の選考） 平成 23 年 10 月 18 日

◆交付対象者の決定、通知及び交付

- ・平成 23 年度第 2 回理事会にて決定 平成 23 年 11 月 14 日
- ・決定通知 平成 23 年 11 月 16 日
- ・交付対象者 20 名、附属明細書-1 に掲載
- ・交付金額 4,000 万円（各 200 万円）
- ・交付完了 平成 24 年 1 月 11 日
- ・贈呈証書授与完了 平成 24 年 1 月 16 日

② 海外留学助成金

◆募集内容

- ・推薦期間 平成 23 年 6 月 15 日～8 月 31 日
- ・推薦件数 4 件

◆選考経過

- ・第 1 回選考委員会開催（推薦方法等の審議） 平成 23 年 5 月 27 日
- ・選考委員による申請書の評価 平成 23 年 9 月 8 日～10 月 5 日
- ・第 2 回選考委員会開催（交付対象者候補の選考） 平成 23 年 10 月 18 日
- ・海外留学助成金交付対象者候補の面接実施 平成 23 年 11 月 8 日

◆交付対象者の決定、通知及び交付

- ・平成 23 年度第 2 回理事会にて決定 平成 23 年 11 月 14 日
- ・決定通知 平成 23 年 11 月 16 日
- ・交付対象者 2 名、附属明細書-1 に掲載
- ・交付金額 700 万円（各 350 万円）
- ・交付完了 平成 24 年 1 月 23 日
- ・贈呈証書授与完了 平成 24 年 1 月 18 日

◆平成 22 年度からの継続交付

- ・交付対象者数及び金額 2 名、700 万円（各 350 万円）

③ 国際共同研究助成金

◆募集内容

- ・推薦期間 平成 23 年 6 月 15 日～8 月 31 日
- ・推薦件数 2 件

◆選考経過

- ・第1回選考委員会開催（推薦方法等の審議） 平成23年 5月27日
- ・選考委員による申請書の評価 平成23年9月8日～10月 5日
- ・第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考） 平成23年10月18日

◆交付対象者の決定及び通知

- ・平成 23 年度第 2 回理事会にて決定 平成 23 年 11 月 14 日
- ・決定通知 平成 23 年 11 月 16 日
- ・交付対象者 1 名、附属明細書-1 に掲載
- ・交付金額 11 万円（平成 24 年 3 月 27 日 渡航費）

◆平成 22 年度からの継続交付

- ・交付対象者数及び金額 1 名、115 万円（平成 23 年度滞在費及び渡航費）
- ・交付対象者採用期間 平成 22 年 9 月 27 日～平成 23 年 9 月 27 日

2. 第 22 回（平成 23 年度）臨床薬理研究振興財団賞の贈呈（定款第 4 条第 1 項第 1 号、第 3 号）

平成 23 年度第 2 回理事会（平成 23 年 11 月 14 日）で決定した臨床薬理研究振興財団賞（以下「財団賞」という。）受賞者に研究奨励金等を交付した。なお、財団賞の授与式は、第 32 回日本臨床薬理学会年会（平成 23 年 12 月 2 日、浜松）において行われた。

- ・交付対象者 附属明細書-2 に掲載
- ・交付金額

学術奨励賞 1 件	300 万円
学術論文賞 3 件	150 万円（各 50 万円）
選考委員会開催等諸経費	50 万円
- ・交付完了 平成 24 年 1 月 12 日

3. 研究報告集「臨床薬理の進歩」の発刊（定款 第 4 条第 1 項第 5 号）

① No.32の編集・発刊

平成 23 年 2 月 2 日開催の理事会の承認を得て、平成 23 年 4 月 1 日に編集会議を開催し、次の通り実施した。

- ・掲載論文 附属明細書-3 に掲載

平成 20 年度 研究奨励金交付論文	18 編
平成 19 年度 研究奨励金交付論文	1 編
国際共同研究助成金報告	2 編
海外留学補助金報告	1 編
海外留学助成金報告	1 編
特別寄稿	1 編
計	24 編

- ・発刊日 平成 23 年 6 月 20 日

- ・配布先

大学医学部長、医科大学長、大学院研究科長	90 冊
大学薬学部長及び薬科大学長	71 冊
大学医学系・薬学系主要講座など	649 冊
大学研究所長など	53 冊
附属病院長その他主要病院長	222 冊
財団役員・評議員・選考委員他	58 冊
交付者	198 冊
図書館	63 冊
その他助成財団、会社関係他	132 冊
計	1, 536 冊

② No. 33の発刊準備

編集会議（平成24年4月20日）に向け、研究奨励金交付論文等を校正した。

・掲載論文

平成 21 年度 研究奨励金交付論文	22 編
海外留学助成金報告	3 編
計	25 編

・発刊予定月

平成24年6月

4. 第 4 回 臨床薬理研究振興財団 研究報告会の開催（定款 第 4 条第 1 項第 5 号）

臨床薬理研究振興財団研究報告会（以下「研究報告会」という。）は、臨床薬理研究振興財団研究大賞（以下「研究大賞」という。）受賞者の表彰と研究成果発表、並びに海外留学修了者の研究報告の会で、今後の臨床薬理学の発展や臨床薬理研究者の育成に貢献することを目的に平成 20 年度から実施している。

◆第 4 回研究報告会概要

- ・日 時：平成 23 年 11 月 14 日（月）15 時 30 分～19 時
- ・場 所：クラブ関東（東京都千代田区丸の内 1 丁目 東京銀行協会ビル）
- ・参加者：67 名
- ・プログラム：附属明細書-4 に掲載

〈第 1 部〉

開会挨拶	理事長	森田 清
第 4 回研究大賞選考経過報告	理事	海老原 昭夫
第 4 回研究大賞表彰		

〈第 2 部〉

研究報告会	座長	理事 中野 重行、評議員 柴崎 正勝
	演者	第 4 回研究大賞受賞者 5 名 海外留学修了者 2 名
閉会に当たって		評議員 松田 一郎

◆第 4 回研究大賞

研究大賞は、当財団が贈呈した研究奨励金を用いて研究が実施され、その後、研究の成果として研究報告集「臨床薬理の進歩」に掲載された論文の中から、特に優秀で今後の発展が期待されるものを選び表彰するものである。本年度は、第 4 回研究大賞として、平成 20 年度及び 19 年度の研究奨励金交付の論文 19 編の中から 5 編を編集会議（平成 23 年 4 月 1 日）において厳正に審査の上選考した。

5. 臨床試験医師養成協議会への助成（定款 第 4 条第 1 項第 4 号）

臨床試験を適正に行える医師養成の為に臨床試験医師養成協議会に対する本年度の助成金は発生しなかったが、前年度の助成金を用いて 2 回のテキスト編集委員会が開催された。

- ・第 3 回テキスト編集委員会 平成 23 年 9 月 2 日
- ・第 4 回テキスト編集委員会 平成 24 年 1 月 10 日

6. 附属明細書

【附属明細書-1】

平成 23 年度交付対象者

①研究奨励金 20 件 (1 件:200 万円)

(敬称略 50 音順)

氏名	所属機関	研究テーマ
岩本 邦弘	名古屋大学医学部附属病院 精神科	NIRS によるうつ病薬物療法の個別化
魚谷 貴洋	浜松医科大学 第一内科	薬剤性消化管傷害のリスク予測と個別化医療
太田 有紀	聖マリアンナ医科大学 薬理学	日本人小腸のトランスポータープロファイル
大塚 文男	岡山大学病院 内分泌センター	肺高血圧症の発症機序の解明とその抑止
金崎 啓造	金沢医科大学 糖尿病・内分泌内科学	AcSDKP に注目した ACE 阻害薬の作用
金指 幹元	鶴見大学歯学部 歯内・歯周病学講座	DDS-PRP を用いた歯周組織の再生
河田 健二	京都大学医学部 消化管外科	大腸癌転移におけるケモカイン・シグナル
小坂 浩隆	福井大学医学部 病態制御医学講座 精神医学	自閉症者へのオキシトシン治療効果の探求
猿渡 淳二	熊本大学大学院生命科学研究部薬物治療設計学講座薬物治療学分野	精神神経疾患治療における個別化副作用予防
柴山 良彦	北海道大学大学院薬学研究院 臨床薬学教育研究センター	肺癌における分子標的薬の個別化治療
菅波 孝祥	東京医科歯科大学難治疾患研究所 分子代謝医学分野	NASH の治療戦略の開発に関する研究
田代 学	東北大学サイクロロン・RI センター サイクロロン核医学研究部	加齢と薬物鎮静作用の相乗効果に関する研究
田中 祥子	東京薬科大学薬学部医療薬学科 臨床薬理学教室	末梢 B 細胞を標的とした個別化医療
辻 大樹	静岡県立大学薬学部 臨床薬効解析学分野	制吐療法における臨床薬理遺伝学研究
馬場 康貴	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 放射線診療センター 放射線科	ポリフェノールの抗腫瘍・副作用軽減の検討
平塚 真弘	東北大学大学院薬学研究科 生活習慣治療薬学分野	SNP 型 CYP バリエントの網羅的機能解析
福井 直樹	新潟大学大学院医歯学総合研究科 精神医学分野	抗精神病薬誘発性糖代謝異常とインクレチン
降幡 知巳	千葉大学大学院薬学研究院 薬物学研究室	肝炎治療効果規定遺伝子の薬理ゲノミクス
松木 絵里	慶應義塾大学病院 血液内科	VRCZ の代謝阻害に及ぼす CYP2C19 多型の影響
見野 靖晃	浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部	SLE 患者における IMPDH 活性

②海外留学助成金 2 名 (1 名:350 万円/年・2 年交付)

(敬称略 50 音順)

氏名	所属研究機関	留学先施設名	期間	研究テーマ
田中 宏樹	浜松医科大学 外科学第二講座 血管外科	アメリカ:スタンフォード大学	2 年	新規大動脈瘤薬物治療法の開発と臨床応用
水野 知行	京都大学医学部附属病院 薬剤部	アメリカ:シンシナティ小児病院 医療センター	2 年	小児における mTOR 阻害薬の個別化治療法の確立

③国際共同研究助成金 1 名 (滞在費 20 万円/月、共同研究助成金 100 万円/年 等交付)

(敬称略)

氏名	所属研究機関	受入先施設名	期間	研究テーマ
QIAN WEIBIN (钱 卫 斌)	青島大学医学院	鳥取大学医学部薬物治療学分野	2 年	中医薬の作用機序とヒトにおける中医薬ならびに西洋薬との相互作用に関する研究

【附属明細書-2】

第22回（平成23年度）臨床薬理研究振興財団賞

（学術奨励賞 1件 300万円、学術論文賞 3件 150万円（各50万円））

（敬称略）

	氏名	所属機関	研究テーマ・受賞論文タイトル（掲載誌）
学術奨励賞	増田 智先	京都大学医学部附属病院 薬剤部 講師	遺伝子多型・発現情報の肝移植後個別化免疫抑制療法への活用に関する研究
学術論文賞	原田 和博	医療法人社団 清和会 笠岡第一病院附属診療所長	Effect of renal impairment on the pharmacokinetics of disopyramide and its metabolite and serum insulin level: a single dose study. 臨床薬理, 41 (1), 35-42.
	斉藤 和幸	独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 新薬審査第三部長	Characteristics of clinical trials conducted in Japan under the new GCP guideline: analysis of PMDA audit reports. 臨床薬理, 41 (5), 253-7.
	首藤 英樹	福岡大学薬学部 薬学疾患管理学講座准教授	Medication use as a risk factor for inpatient falls in an acute care hospital: a case-crossover study. Br J Clin Pharmacol, 69 (5), 535-42, 2010.

【附属明細書-3】

研究報告集「臨床薬理の進歩」No. 32掲載論文

平成20年度 研究奨励金交付論文

(敬称略 50音順)

氏名	所属	論文タイトル
安藤 仁	自治医科大学医学部薬理学講座 臨床薬理学部門	ラロキシフェンを用いた閉経後骨粗鬆症の時間治療
石井 優	国立病院機構大阪南医療センター 臨床研究部	ヒト破骨細胞の遊走を標的とした新規骨粗鬆症治療薬の開発と応用
石森 直樹	北海道大学病院循環器科	急性冠症候群患者におけるスタチンによる積極的脂質低下療法のコレステロール吸収と炎症マーカーに関する検討
伊藤 晃成	東京大学医学部附属病院薬剤部	薬物速度論に基づいた母乳中への薬物移行性の解析と予測
清谷 一馬	理化学研究所ゲノム医科学研究センター 遺伝情報解析チーム	網羅的遺伝子多型解析による乳がんホルモン療法の治療効果の予測
古和 久典	鳥取大学医学部附属脳幹性疾患研究施設 脳神経内科部門	Parkinson病患者における高ホモシステイン血症は正効果の臨床薬理的検討ー栄養障害関連因子の検討も含めてー
佐々木誠人	名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学	酵素パワーを利用した無理のない食生活による生活習慣病予防の試みー糖尿病患者におけるtransglucosidaseの効果ー
志賀 剛	東京女子医科大学循環器内科学講座	発作性・持続性心房細動に対する抗不整脈薬ベプリジルの臨床薬理的検討
須崎 友紀	大分大学医学部附属病院 総合臨床研究センター	CES1A遺伝子多型とオセルタミビル代謝への影響を検討するための臨床試験の実施
内藤 隆文	浜松医科大学医学部附属病院薬剤部	神経障害性疼痛患者におけるガバペンチンの体内動態に及ぼすOCTN1の遺伝子変異の影響
中田 光俊	金沢大学 医薬保健研究域医学系 脳・脊髄機能制御学	5-ALA代謝酵素を標的とした悪性脳腫瘍の効率的分子イメージングと光線力学療法
成田 裕司	名古屋大学医学部 臨床細胞治療学寄附講座	生体吸収性ナノファイバーを用いたDDSの開発ーバイパス手術時の動脈グラフト攣縮予防のための血管拡張薬徐放法ー
廣田 豪	九州大学薬学研究院 薬物動態学分野	microRNAによるdihydropyrimidine dehydrogenase遺伝子発現調節機構の解明
前田真貴子	兵庫医療大学薬学部 医療薬学科ゲノム薬理学講座	禁煙治療薬の個別化適正投与方法確立に向けたゲノム薬理学的研究
牧山 武	京都大学大学院 医学研究科 循環器内科	CYP2C19遺伝子多型のクロピドグレル(ADP受容体拮抗薬)抗血小板作用に及ぼす影響ー日本人患者における検討ー
三浦 淳	室蘭工業大学保健管理センター	気分障害の発症脆弱性・薬物治療反応性に関連する生物学的指標
三浦 昌朋	秋田大学医学部附属病院 薬剤部	薬物動態学/薬力学/薬理遺伝学に基づくミコフェノール酸の個別化療法の確立
森本 達也	静岡県立大学薬学部分子病態学	心筋細胞核内情報伝達経路を標的とした新規心不全治療法の確立

平成19年度 研究奨励金交付論文

森本 卓哉	大分大学医学部附属病院 臨床薬理センター	薬物輸送タンパク等遺伝子情報を駆使した慢性関節リウマチ治療におけるMethotrexateのPK/PD解析と臨床展開
-------	-------------------------	--

国際共同研究助成金報告

刘 玉旺	自治医科大学医学部薬理学講座 臨床薬理学部門	脳卒中易発症性高血圧自然発症ラットを用いたアンジオテンシンII受容体拮抗薬の時間薬理学研究 脳卒中易発症性高血圧自然発症ラットにおける骨密度減少に対するアムロジピンの予防効果
------	---------------------------	--

海外留学補助金報告

関亦 正幸	福島県立医科大学医学部 (現:山形大学医学部)	ワシントン大学留学体験記(2005年5月~2009年10月)
-------	----------------------------	--------------------------------

海外留学助成金報告

古田 晃	慶應義塾大学医学部循環器内科	CHU de Rouen, Hospital Charles-Nicolle 留学記 (2007年5月~2010年2月)
------	----------------	---

特別寄稿

鈴木 忠生	公益財団法人臨床薬理研究振興財団	動物とヒトの狭間に苦しんで
-------	------------------	---------------

第4回 臨床薬理研究振興財団 研究報告会

日時：平成23年11月14日（月） 15:30～19:00

場所：クラブ関東（東京都千代田区丸の内一丁目 東京銀行協会ビル19階）

第1部 臨床薬理研究振興財団研究大賞表彰式

挨拶	理事長	森田 清
選考経過報告	理事（古河病院顧問）	海老原昭夫
表彰式		

第2部 研究報告会

座長	理事（大分大学 名誉教授）	中野 重行
	評議員（東京大学 名誉教授）	柴崎 正勝

【研究報告】（発表時間 10分 質疑5分）

ラロキシフェンを用いた閉経後骨粗鬆症の時間治療

自治医科大学医学部 薬理学講座臨床薬理学部門	安藤 仁
------------------------	------

発作性あるいは持続性心房細動に対する抗不整脈薬ベプリジルの臨床薬理学的検討

東京女子医科大学 循環器内科	志賀 剛
----------------	------

薬物動態学、薬力学および薬理遺伝学に基づくミコフェノール酸の個別化療法の確立

秋田大学医学部附属病院 薬剤部	三浦 昌朋
-----------------	-------

網羅的遺伝子多型解析による乳がんホルモン療法の治療効果の予測

理化学研究所ゲノム医科学研究センター 遺伝情報解析チーム	
（現）徳島大学疾患ゲノム研究センター ゲノム制御分野	清谷 一馬

5-A LA代謝酵素を標的とした悪性脳腫瘍の効率的分子イメージングと光線力学療法

金沢大学医薬保健研究域医学系 脳・脊髄機能制御学(脳神経外科)	中田 光俊
---------------------------------	-------

【留学報告】（発表時間 10分）

小児臨床研究及びPKPD解析と個別化療法（フィラデルフィア小児病院）

東京女子医科大学病院 薬剤部	木村 利美
----------------	-------

米国UCSFにおける薬物トランスポーターをターゲットとしたゲノム薬理学研究

東京薬科大学 臨床薬理学教室	（現）株式会社 QIAGEN	福島 悠代
----------------	----------------	-------

【閉会にあたって】

評議員（熊本大学 名誉教授）	松田 一郎
----------------	-------

第3部 情報交換会

出捐者代表挨拶	第一三共株式会社代表取締役会長	庄田 隆
---------	-----------------	------